



Let's do it now!

2022に向けて誇りを持って All is well.

2020-2021 年度
西日本区理事

古田 裕和

日々寒さが緩やかに増していき冬物のコートの出番も多くなってきました。また、このところ新型コロナウイルス第3波による感染者数がすごい勢いで伸びてきていますが、みなさまお元気にお過ごしでしょうか。

11月を振り返りますと、11月6日にアジア・太平洋地域のRDミーティングがZOOMにより行われました。期が始まってから今までの各種事業や献金状況を発表するのですが、英語での原稿作りや発表はなかなか大変です。原稿作りをしていたある日の夢にも英語で苦労している自分の姿がありました。

11月17日には鹿児島クラブの例会にZOOM参加させていただきました。鹿児島クラブといえばYMCAとの関係の良さが西日本一ではないかと思うくらいワイズとYMCAの関係の良さが際立つクラブです。例会の中で2024年までのクラブ会長が松若会長より発表され、あとはメンバー増強のためEMCを頑張ろう！と今後の意気込みが感じられる例会でした。

また11月27日には福山クラブの設立40周年記念例会にZOOM参加しました。福山クラブは福山YMCAと共に40年の歴史を刻んでこられたクラブです。福山YMCAが2021年3月で閉じられることから今後のワイズとしての活動をどのようにするか模索されていますが是非次の50周年に向かって福山の地で頑張っていっていただきたいと思います。

11月の締めくくりは28日・29日に大阪クライトンホテルで行われた2020年度西日本区次期役員研修会でした。ZOOMによる参加者も含めて行われました。ホテルの十分なコロナ対策もあり2日間安心して研修を受けることができました。いい意味でクラブや部が変わっていかねば発展はないというテーマで話をさせていただきました。やはり2日間、会場で顔を見ながら話をしながら受ける研修は良いものだと思えて感じました。参加された方々お疲れ様でした。

このような11月でしたが新型コロナウイルスの今後の心配です。

今月も多くのプリテンを拝見させていただきました。その中で今期の重点目標である広報についての記事が載っていたのでちょっと紹介させていただきます。

京都キャピタルクラブのプリテンの巻頭記事で広報・プリテン委員長の横田岳士ワイズによる執筆です。「今期からの新しい取り組みとして、京都部部長排出予定の期を見据え、Facebookを活用しクラブの活動を広報していくためのテストを始めています。FacebookのようなSNSを活用することで今までよりも広くキャピタルクラブのことを知っていただき将来的にクラブの理念にあったメンバー増強に繋げていけるよう取り組みます」という内容でした。メンバー増強を側面から支えていく広報というツールについて新しい取り組みを実践されていることに対して感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともよろしくお願いします。

また今月はこの後の報告記事にも出てきますが姫路グローバルクラブがコロナの影響でなかなか事業ができない中、素晴らしい事業をされました。詳しくは後の報告を是非お読みください。この事業についてはマスメディアにも多く取り上げられました。ありがとうございました。



家は知恵によって築かれ、英知によって固く立つ。

箴言 24:3

聖書の小窓「知恵と英知を用いて」

たった一人で家を建てている大工さんに聞いた話。

「最近では家のまわりに玉砂利を敷く人が多くなった。これは昔からの知恵なのだが、その理由が情けない」と。いまの人們が玉砂利を敷くのは、不法侵入者防止のためです。塀・壁が庶民の家になかった時代、人が来たことが分かるために玉砂利を敷いた。最近では不法侵入防止なのだと言われておられました。

人が来たことを知るのか、人が入らないように警告するのか。人間の心の本質を見つめさせられます。昔の人們の知恵を、私たちはどのように受け継ぐべきなのかを考えました。何が知恵で、何が英知なのかです。

箴言は「家は知恵によって築かれ、英知によって固く立つ」と教えます。人が生きることには知恵が直接かわります。神から与えられる知恵は、英知に変えられ、人間にとって大切な基盤となっていきます。それをどのように用いていけばいいのかがコロナ禍の中の課題です。

日本福音ルーテル広島教会(松山教会兼務) 牧師:立野泰博

■YMCA報告

「私たちの地球と宇宙船レジリエンス号」

去る、11月16日にNASAケネディ宇宙センターから、3回目の宇宙飛行となる野口聡一さんら、多様性を持つ4人のクルーが宇宙へと飛び立ちました。イーロンマスクが率いるスペースX社のクルードラゴンという宇宙船です。ニュースによると、4人の宇宙飛行士たちは、話し合い、宇宙船の名前を、「レジリエンス号」と名付けたそうです。

ニュースを見ていた私は、おもわず「はっ!」としました。私たちのYMCAでは、いち早く春の段階から、「レジリエンス」を標榜し、「レジリエントYMCAの活動」を世界の仲間と分かち合ってきました。もしかしたら、そのことを、アメリカにいた宇宙飛行士たちは知っていて、「レジリエンス=回復力」をこれからの社会への希望の言葉として捉えたのではないかと感じました。感じたのは、私だけかもしれませんが嬉しくもありました。

現在までの、世界と日本のYMCAの状況はとても厳しい中にあります。その中にあっても、私たちのYMCAにつらなる仲間たちは、「レジリエンス」を希望の灯として、聖書の言葉にあるように、燭台の上に掲げ、世を照らす光となるように輝き続けたいと願っているようです。私たちの社会は、New Normalな社会へと転換していくことが予想されますが、

私たちは、祈りの中で、変えるべきものと変えてはいけないものを見極めてく、「知恵」をこれまでも、そしてこれからも持ちつづけていけるのです。

YMCAとワイズメンズクラブは、賢者として、経験ではなく、歴史に学んできました。100年の歴史を刻む2つの団体が、パートナーシップの絆を強め、力強く歩むことこそ、「レジリエンス」な社会への一歩だと確信しています。お互いに応援し、お互いが応援される素敵な関係性に感謝です。これからも、皆様には、関係性のマネジメントに関わっていただければ幸いです。



日本 YMCA 同盟
担当主事 光永尚生(三島)

■第2回役員会議事録／概要版

第2回役員会議事録／概要版

2020年10月31日(土) 午後0時00分～

開催場所：新大阪クライトンホテル及びWEB会議(ZOOM)

出席者：39名(兼任除く)

- ・議決権者の確認 常任役員5名 部長 9名 事業主任5名 以上19名
過半数は10票

【第1号議案】

議案名
2020-2021年度 第1回役員会議事録承認の件
議案内容
2020-2021年度 第1回役員会議事録承認の件
提案理由
次頁以降に記載されました西日本区第1回役員会(2020年7月18日(土)WEB会議)における議事録の承認をお願い致します。

<審議の結果> 全員賛成により承認

【第2号議案】

議案名
第25回西日本区大会ホストクラブ及び開催地、日程を承認する件
議案内容
ホストクラブ 京都トップスクラブ 協力クラブ 岡山クラブ 開催年月日 2022年6月11日(土)・12日(日) *6月10日(金)前夜祭 開催地 岡山国際ホテル(岡山市)
提案理由
近年は関西圏での開催が続いており、また京都においては2019年6月、2021年6月に京都市で開催されます。今回は西日本区25年の記念すべき大会であり、第1回西日本区大会が開催された岡場で、岡山クラブと協力し開催したいと考えており、会場は岡山国際ホテルを確保しておりますのでご承認ねがいます。

(質疑応答)

＊戸所直前理事:この年に国際の行事で既に決まっているものがあれば教えていただけますか。

→大野財政監事:2022年度は8月11～14日にハワイホノルルにて100年記念の国際大会が行われる予定となっています。2021年8月13～15日台湾・台南市においてアジア・太平洋地域大会が行われ、アジア・太平洋地域においてはその場で100年のセレモニー的なものを行う予定となっています。

＜審議の結果＞ 全員賛成により承認

【第3号議案】

議案名

YES 献金のうち、6割相当を区で活用し、
4割相当をアジア太平洋地域へ納付する件

議案内容

YES 献金は、一人500円を目標にしている。2017年度以前は、目標を200円/一人として、全額をアジア太平洋地域へ納付していた。2017年度始めに、目標を500円/一人とし、200円を地域へ、300円を西日本区内で活用しようと決定した。しかし、地域の会計に対して十分な理解が為されず、500円/一人全額を区内で活用しようということになった。

前期より区内のエクステンションに関してもアジア太平洋地域から支援金が出るようになったことも考え、献金の活用割合を2017年度当初に戻し、YES 献金のうち、6割相当を区で活用し、4割相当をアジア太平洋地域へ納付するというものである。

提案理由

2017-18年度第2回役員会では、YES 献金額を全額西日本区に貯めておき、区内で活用することが決定された。これは、アジア太平洋地域へ納付していた献金の使途について十分な説明がないためであった。

今般、アジア太平洋地域会計について理解が深まり、西日本区でも献金から支援を受けている。そこで、西日本区からも地域への献金を行う時期になったと考える。

(質疑応答)

＊大野財政監事:私の理事期であった2017年度に500円/一人と決まりましたが、当時北京都フロンティアクラブがチャーターした時にアジア地域(当時)から支援金 が得られ

なかったという経緯があり、地域への送金はせず、全額を区内で活用するとの決定をしました。その後、田中ワイズがアジア・太平洋地域となってから、地域の会計も明朗になってきて、今回の議案に至ったと思いますので、承認の程、よろしくお願い致します。

- ＊中井阪和部部長:今期、アジア・太平洋地域のBF事業主任を兼務させて頂いている立場からも、田中アジア・太平洋地域直前会長になってから、ある程度明朗になってきたと私も認識していますので、本提案に賛成します。
- ＊大槻広報・情報委員長:議案内容に「2017 年度以前は、全額をアジア・太平洋地域に納付していた」とありますが、2015 年度までは国際協会へ一括納付し、その内の 2/3 がエリアに戻されて、それを運用するということになっていましたので、その点だけご承知おきください。

< 審議の結果 > 全員賛成により承認

【第 4 号議案】

議案名

2020 年度次期役員研修会 2 日目聖日早天礼拝献金贈呈先の件

議案内容

2020 年度 次期役員研修会 2 日目の聖日早天礼拝において寄せられた献金については熊本 YMCA が復興支援活動を進めている「令和 2 年 7 月豪雨」に協力するため、贈呈先を熊本 YMCA とする。

提案理由

今期の事業目標達成のための一助とさせていただきたい。

< 審議の結果 > 全員賛成により承認

【第 5 号議案】

議案名

ワイズメンズクラブ創設東西両区 25 周年記念、東西交流会実行委員会設置の件

議案内容

ワイズメンズクラブ創設 100 周年、東西両区 25 周年記念、東西交流会を開催するため、実行委員会の設置を承認して頂きたい。
実行委員の選出については理事一任で常任役員に上程することとする。

提案理由

2020 年 10 月 11 日(日)に行われた東西理事連絡会議において、ワイズメンズクラブ創設 100 周年にあたる 2022 年に記念行事として東西交流会を実施し、100 周年以降の東西両区の発展につなげていこうと両区で合意しました。早急に東西交流会の実行委員会を設置し、両区、力を合わせてこの交流会を成功に導きたいと考えます。

(質疑応答)

* 森田ワイズ将来構想特別委員長:この委員会はどの程度の規模とされるのでしょうか。

→古田理事:当初は東西各部で 5～6 名、合計で 10～12 名の規模からスタートし、後々そこにプラスをしていくと考えています。

* 森田ワイズ将来構想特別委員長:これは確かにワイズメンズクラブの記念行事ですが、ワイズとYMCAが共に発展していくために、この委員会をYMCAと協同し、この記念行事がワイズメンズクラブとYMCAが地域社会に非常に役立っていこうという精神を持つ団体だということを広くPRできる行事として欲しいと希望しています。

<審議の結果> 全員賛成により承認

【第 6 号議案】

議案名

2018年から2019年度メネット会計承認の件

議案内容

2018年から2019年会計の監査が終了しました。別紙記載の通りでございますので
お諮りいただきたく提案させていただきます。

提案理由

当該年度以前に処理すべき事項でございますが、今期に至り監査をいただくに至りました。

会員及びメネット他関係各位に報告すべく提出させていただきます。また、ご承認いた

だけでしたら、区報記載をお願いしたく存じます。支援金について申し出の支出が無い部分に対しては、支出しておらず繰越させていただいております。

<審議の結果> 全員賛成により承認

【第 7 号議案】

議案名

第 2 3 回 西日本区「区大会支援金」決算報告承認及び残金（5 3 2, 4 5 5 円）を西日本区の経常会計に戻す件

議案内容

区大会支援金実行額（2 5 3、5 4 5 円）の明細は、別紙のとおりですので、ご承認願います。

提案理由

本年 6 月開催予定でした、第 2 3 回西日本区大会は、コロナ禍のため開催を中止いたしました。開催準備などにかかった経費（別紙明細書）を区大会支援金から支出いたしましたので、承認いただきたいためです。

（質疑応答）

- * 大槻広報・情報委員長：目的を区大会を支援するためとして会員から集めた区大会支援金の残金を区費に入れていいものかどうかの見解をお聞かせください。
- 戸所直前理事：ご尤もな意見ですので、他の皆様のご意見もお聞かせいただきたい。
- 吉田中西部部長：私が区大会の実行委員長をさせて頂いた第 18 回時は、残金は大阪 YMCA やその他団体に寄付をさせて頂いたことを記憶しています。
- 渡邊西中国部部長：私が区大会の実行委員をさせて頂いた時は、前期から前期の残金を頂いたという記憶があります。
- * 大槻広報・情報委員長：本役員会で「区大会の支援を目的とした区大会支援金が、区大会中止により残った残金分は、本来皆さんにお返しするべきところ、現下の西日本区の財政状況を鑑み、その分を西日本区の経常会計へ戻すという処理をさせて頂くことも併せて決をとってはいかがでしょうか。
- 中井阪和部部長、吉田中西部部長、新山次期理事：大槻委員長のご意見に賛成です（セコンド）
- ⇒ 大野財政監事の提案もあり、議案名を『第 2 3 回 西日本区「区大会支援金」決算報告承認の件』から『第 2 3 回 西日本区「区大会支援金」決算報告承認及び残金（5 3 2, 4 5 5 円）を西日本区の経常会計に戻す件』に変更した
- * 大槻広報・情報委員長：今回の「区大会支援金の残金を区の経常会計へ戻して処理させて頂く」ということは理事より理事通信等で皆さんへ告知をされてはいかがでしょうか。
- 古田理事：そのようにさせて頂きます。

<審議の結果> 全員賛成により承認

＊大槻広報・情報委員長:今回の「区大会支援金の残金を区の経常会計へ戻して処理させて頂く」ということは理事より理事通信等で皆さんへ告知をされてはいいのでしょうか。
→古田理事:そのようにさせていただきます。

<審議の結果> 全員賛成により承認

・協議事項

【第 1 号協議】

協議名

区報第 1 号の発行日 変更

協議内容

区報第 1 号の発行月を毎年度 8 月に変更

提案理由

西日本区行事予定一覧に区報発行予定月が 7 月に定められていますが、7 月はスタート月でもあり、前期の区大会終了後、原稿執筆の時間もなく、7 月末発行は不可能です。
西日本区発足以来、7 月に発行されたことはありません。

●質問意見等

＊大野財政監事:現状では仕方ないと思いますが、東日本区では 7 月に発行できているので、「なぜ西日本区では 7 月に発行できないのか」という検証は必要と思いますし、7 月発行ができないものかという検討は更に必要と思います。
→古田理事:わかりました。当面につきましては 8 月発行としますが、7 月発行に関しては引き続き検討をしていきます。

【第 2 号協議】

協議名

YMI ワールド翻訳編集委員会の名称変更及び事業内容の発展的変更について

協議内容

現在委員会では YMI ワールドの翻訳中心とした業務を東日本区の委員と共同で行なっています。この業務に通訳を加えて通訳・翻訳を総合的に担当する委員会とする。

また名称は、ふさわしいものに変更する。

提案理由

10 月 11 日に行われた東西理事連絡会議でも話題になり検討依頼されました。

現在国際や、アジアからのメールが膨大に送られてくる、またミーティングの回数もオンラインの普及により頻繁に行われるようになりました。通訳業務は必ず必要なものであり一部のメンバーだけではこなしきれない状況です。通訳者の新規発掘や将来通訳者になれる人材の育成などを翻訳とともに総合的に行う委員会としたい。

●質問意見等

- * 新山次期理事: 東日本区でも一部の方が長きに渡って担当している状況ですので、是非とも早急にこの体制を整えられたらと思っています。
 - * 中井阪和部部長: 私は現在 YMI ワールドの翻訳の一部を携わっています。文書の翻訳に関しては最近優れたソフトも出てきており、そこまで難しい仕事ではなくなってきましたが、一番難しいのは同時通訳だと思います。それをできる方を探すことが必要だと思います。
 - * 古田理事: 日々非常に多くのメールが届きますし、コロナ禍となり、以前は年に1, 2回の集まりだった会が、逆に頻繁に開催されるようになっていきます。現在、西日本区で同時通訳を行って頂いているのは熊本ジェーンズの前田さんですが、一人でそれを抱えていくのは非常に大変だと思いますので、各部、周りでそのようなことが出来る方がいらっしやれば、是非、ご推薦頂きたい。
 - * 吉田中西部部長: 通訳というのは本当に難しい職業だと認識しています。特にインターネットを介しての同時通訳というのは、同時通訳をする方々の中でも本当に難解なものであると聞いています。それをワイズの中から賄うことができればそれが一番とは思いますが、別の方法も検討する必要があるのでは、と危惧をしています。
 - * 大野財政監事: 西日本区の旅費規程でも、RDEトレーニングへの次期理事随同行時に通訳者の旅費に関する規定があるが、これが ZOOM になると旅費がかからなくなってしまいます。この辺りも時代に合ったものに変えていく必要があると思います。若手育成という意味でも、お礼等も併せて考えていく必要があると思います。
- 古田理事: わかりました。今後、費用のことも併せて考えていきたいと思っています。

【第 3 号協議】

協議名

メネットについての再認識

協議内容

1. メネットとは女性に対する定義であることを再認識していただきたいと思います。

提案理由

1. 西日本区定款・定款施行細則では、メネットは以下のように定義されています。
「メネット会は、ワイズメンの夫人と各クラブが入会を認めた女性である特別メネットをもって構成する。」(定款第3条第7項②)
会員のパートナーが男性の場合はメネットではありません。メネットは女性を表す言葉だと思います。

西日本区定款施行細則(第4条)
第1項 クラブの女性会員はメネット会員とはならないが、メネット会の活動には自由に参加できる。
第2項 メネット会はメネット会長を置くが、クラブの事情によりメネット会を設けられない場合は、国際・区・部などからメネットへの情報伝達に備えるため連絡員を置く。

2. メネット会長、メネット主査、メネット主任は女性を意味します。男性が役目を担う場合はクラブメネット連絡員、部メネット連絡主査、区メネット連絡主任という表現はいかがでしょうか。

●質問意見等

- * 大野財政監事:「メネット」という言葉についてのみでなく、「メネット事業」ということを考えれば、主任や主査、各クラブの委員が事業を行う時に、女性がいないクラブはやはりそれらの役目を男性が務めるということは、メネット事業を継続していくという観点からも止むを得ない事と思います。
先日の委員会ではメネットのことを「ワイズパートナー」と呼んではどうかという意見もありましたが、そのことに関しては私も賛成いたしました。
- * 益国Yサ主任:言葉、特に世界で共用している言葉ですので、本来大事にすべきものだと思います。メネットという言葉はあくまで「女性」を定義する言葉です。ですので、その意味をLGBT等を理由にずらしていくことはおかしいと思います。
但し、役職としてのメネット主任やメネット主査に関しては、〇〇女性の部門の長を男性がやられるということは一般社会でもあり得ますので、管理者や責任者を男性が務める事はやぶさかではないと思います。
- * 濱田ヒストリアン:少なくとも定款を定める時は、メネットに役員会での議決権を持たせるか等、その当時における様々なメネットの課題を整理して作成したという記憶があります。今現在の西日本区の中でどうあるべきかを整理する等、様々な課題が含まれている協議案だと思います。
- * 戸所直前理事:昨年、メネットという言葉をもう少し拡大解釈をしてパートナーという言葉を使

おうと申し上げた一番の理由は、メネットの活動というものをメンの活動を単に支えるという意味合いからもっと広範な形で皆さんが参加できる意味合いを持たせたいということからでした。

- * 西野JWF管理委員長:現在の定款はメンバーが男性であることを前提としています。現在は女性会員も増えてきていますので、定款は変更すべきと思っていますし、女性会員が増えている反面、メネットとして活動している女性が少なくなっている現状の中で、今後メネット事業をどうしていくべきかということを考えるべきと思っています。
- * 森田ワイズ将来構想特別委員長:日本区の定款を作成する時にメネットがメンのワイズメンズ活動をサポートするだけでは面白くないだろうとのことで、メネット独自でも活動ができるという形の入ってしまった。現在、国際のメネット事業がどうなっているのかの現況を知りたい。
- * 中井阪和部部長:協議案で言われている「呼称」という意味では、国際にはまだメネットという言葉は残っていますので、西日本区だけ変更することはおかしいと思います。
- * 吉田中西部部長:なかのしまクラブは全員が女性ですのでメネット会は存在しません。現在、なかのしまクラブは、クラブメネット連絡員を置いていますので、提案理由2の部分は「男性が役目を担う場合は」ではなく私たちのクラブのような場合も考慮して表現を変更してはいかがでしょうか。
- * 中堀国際交流主任:新入会員等にワイズの活動や事業を理解してもらうためにも、誰でもわかる名前をつけることが非常に重要だと思います。
- * 吉本メネット主任:今回協議案として挙げさせていただいた根底には、メネット事業委員会、メネットの位置づけ、メネットの在り方など去年いろいろと懇談会であった話を踏まえていますので、今後、事業委員会や常任役員会、組織検討・安全対策委員会皆様のお力を借りて十分に検討して進めていきたいと思っています。

【閉 会】17:45

2020年11月16日(月) 午後7時00分～

開催場所：WEB会議(ZOOM)

出席者：21名(委任状による出席3名)

・議決権者の確認 常任役員 5名 部長 9名 事業主任 5名 以上 19名
過半数は10票
出席者18名(内委任状による出席3名)

【第1号議案】

議案名

次期における次期理事候補として承認の件

議案内容

次期における次期理事候補を熊本むさしクラブ田上正ワイズとすることの承認を求めたい

提案理由

2020年10月29日に行われた、次々期理事指名委員会において次々期理事候補として熊本むさしクラブ田上正ワイズを推薦することが話し合われました。

その後ご本人の意思を再度確認し、熊本むさしクラブの了解決議と九州部の協力の同意も得ることができました。

その上でもう一度次々期理事指名委員会に諮ったところ全員一致で田上ワイズを推薦することが承認されました。

11月28日、29日に行われる西日本区次期役員研修会が行われるまでに今期役員会の承認を得たいという理由から今回の臨時役員会での承認を求めます。

(質疑応答)

※安行六甲部部長、中井阪和部部長、吉本メネット主任：賛成意見

※大野財政監事：次期理事の承認は代議員会で行われるので、議案名が「次期における次期理事承認の件」というのが相応しいか検討頂きたい。

→古田理事、戸所直前理事の意見をもって議案名を「次期における次期理事候補として承認の件」に変更。

<審議の結果> 出席者18名賛成により承認

【閉会】午後7:25

■第23回西日本区大会「区大会支援金」決算報告における 残金の取り扱いについての報告

第23回西日本区大会における「区大会支援金」の残金532,455円につきまして今期第2回西日本区役員会で協議した結果、西日本区一般会計に残金532,455円を戻すことで決議いたしましたので西日本区のみなさまにご報告いたします。

西日本区理事 古田裕和

■12月の西日本区強調月間

EMC-E YES

次の世代、新しいクラブ設立の為に、YES献金を100%

12月の西日本区強調月間は EMC-E であります。

EMC-E はエクステンションの E。新しいクラブ設立の設立準備金として贈られます。前期では、びわこ部で高島クラブが設立された時も YES(Y's Extension Support) から設立準備金が捻出されております。世界中で新しいクラブが誕生する時に資本となる YES 献金をメンバーの皆さんに御理解の上御協力を願いたいです。新型コロナによる影響で普段の生活に影響がある時に大変なお願いですが、これから新しいクラブ設立の為にどうかご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

EMC 事業主任

竹園 憲二 (京都 ZERO クラブ)

■「びわこ部 YYYフォーラム開催」

去る 10 月 24 日土曜日、近江八幡市ホテルニューオウミにて、びわこ部 YY フォーラムを開催いたしました。近年は YYY フォーラムと称して、YMCA のリーダー達と Y's メンが、ボーリング大会やその後の食事をしながら意見交換をする場としておりました。今年はコロナ禍の中、様々な行事が中止となっておりましたが、Y's 主査井之上温代ワイズの提案で、今回の YY フォーラムを開催できることとなりました。学生達の参加は難しいと判断し、YMCA の若い職員の皆様とワイズメンズクラブが交流を持ち、親睦を深める機会となりました。最初に、西日本区の Y's 事業主任益国ワイズがリモートで参加していただき、主任の方針を説明していただきました。YMCA 理解のため、参加 9 名のスタッフが、各々の自己紹介と担当事業を画像と共に詳しく説明していただきました。ワイズメンにとって、人となりがよく理解できるものでした。久しぶりに多くの方々が一堂に会し、お食事を頂きながら、楽しい時間を過ごすことができました。

びわこ部 部長

西川 裕介 (彦根シャトークラブ)



■姫路グローバルワイズメンズクラブ 2020-2021年度 11月例会

ひとり親家庭のお子様限定「楽しさいっぱいデイキャンプ」報告

日 時	2020年11月23日(祝) 午前10時～午後4時
場 所	姫路YMCA 太子遊びと冒険の森【ASOBO】(太子キャンプ場)
対 象	ひとり親家庭の小学生 30名(申し込みは21名、参加は19名)
内 容	カヌー・アーチェリー・クラフト・森遊び等(昼食付)
運 営	NPO)姫路YMCA(協力:姫路YMCA キャンプリーダーOB会)
後 援	姫路市、姫路市教育委員会



「新型コロナウイルスの影響による自粛生活や夏休み短縮などにより、子どもたちにはストレスが溜まっているのではないかと、そのストレス発散になれば」との願いで、広々としたキャンプ場でのびのびと楽しいひと時を過ごして頂けるイベントを11月例会として企画しました。対象は、影響を大きく受けていると思われる「ひとり親家庭」のこどもに絞りました。



どもたちが参加しました。

当日は天候に恵まれ、こどもたちは元気いっぱい
で姫路YMCAのリーダーとおいしい野外料理(カレー)を作ったり、カヌーや
アーチェリーなどを思い



っきり楽しみました(ワイズ
もこどもに戻って楽しみました)。池ではこどもが魚を釣り、リーダーも驚いていま



このイベントは、野外活動を通して青少年の健全育成活動を行う姫路YMCA
の活動PRにもなりますし、イベント費用を姫路グローバルワイズメンズクラブが負
担することでYMCAサポートにもなる事業だと感じました。可能なら、来年も継

続実施したいと思います。

このイベントの実施に際しては、今里朱美姫路市議会議員にお世話になりました。瀬戸山陰部からは長寿
部長と岡山クラブの
竹内さん、丸山さん、
姫路クラブから橋崎
さん、阪田さん、リー
ダーOB富士田さん
にご参加いただきま
した、感謝申し上げ
ます。(記録:11月ド
ライバー)





ワイズで自慢したい!

教えたい!知ってもらいたい

わたしの横顔!

理事通信では各事業役員会などの情報を毎月、西日本区のワイズのみなさんに発信してまいりましたが、今回は新型コロナウイルスの影響により交流にも制約がありワイズとのふれあいも少なくなり、ワイズの皆さんは西日本区、各部の役員の皆様のあたたか〜い人間的な横顔を知らないのでは??と考えました。そこで特別企画として、お堅い話は一切ナシ!役員の皆様の意外な一面をクローズアップして楽しく読んでいただけるコンテンツとして「わたしの横顔」を企画することに致しました。

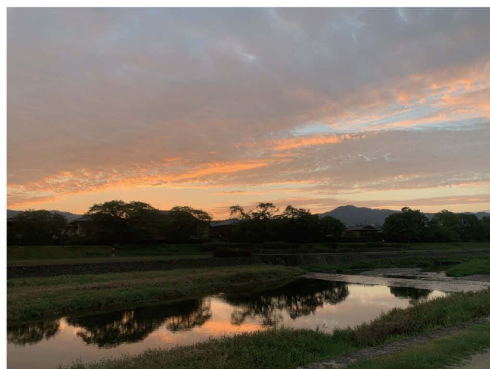


どーでもよい独り言

京都部 直前部長

島田 博司(京都ウエストクラブ)

私の日課は真っ暗な朝のジョギングから始まります。
毎日 俺なんでこんな眠たい・寒い・体痛い(特に最近)
中ほぼ修行みたいなことしてんにやろ…。と思いつつ、
すぐに出ていくと起きたての身体がついていけないから
と、トイレで約 20 分ほどすごして、それから自社マン
ションのごみの整理、自転車の整理をしてから約 40 分
の修業に…。また月初めには下鴨神社へ早朝お一日参り
ジョグをここ数十年続けています。まあつらいことばかり
ではなく、ジョギング中にはいろいろな仕事の段取り
や、戦略、ワイズ事業のアイデアなど考えながら、時には
アイデアの神様が舞い降りてくることもしばしば。



早朝の京都鴨川

なかなかこれが面白い。やめられない理由のひとつです。やめられない理由に減量ということもあります。
こんだけ続いているならもうげっそりと、そして中性脂肪や内臓脂肪の数値も定期検査でひっかかるわけがない
やんと思うのですが…。なんでなのでしょうね。お酒と油物は控えます。たぶん。そのうちに。
来年の 3 月に末っ子が就職することになり、ついに 3 人の子供たちが全員就職することになります。ついこの
前までちっちゃかった子供たちもいまや俺のナイスなおヤジギャグに笑うこともなく、それぞれの人生を歩み
だしたわけですが、家ではしらーとあまり話をしないながらも他からの話によると、男として親父のことを尊
敬している。な〜んて話を耳にすると、これからも、何事にも誠実にそして継続できることは続けていこうと、
どーでもよい独り言みたいなことを考えながら今日も鴨川を走ってきました。





大好きな孫娘と NHKのど自慢に 挑戦しました(R2年2月)

九州部地域奉仕・環境事業主査
山田 芳之(熊本ジェーンズクラブ)

ワイズ歴は27年程。入会の契機は、30歳代前半にホストから「山田君、家庭生活や経済的にも安定したなら、そろそろ社会に対して恩返しをしたらどうか。」と言われたことでした。それまで社会への思いや地域奉仕には全く関心がなかった僕にとって目からうろこが落ちました。でもそのホストも僕が入会後すぐに逮捕される始末。波乱万丈で先が思いやられる船出となりました。当初は不良会員でしたが、クラブ書記を拝命してから本当のワイズライフが始まったように覚えています。

何と言ってもワイズの素晴らしさは、同級生がいっぺんに数十人増えたような感覚になったこと。歳が一回りも上の大先輩方に対して、頭を叩きながらアホ呼ばわりしたり、ボケをかますなんて通常の社会人ではあり得ない楽しさが味わえることです。こんな柵のない関係が大好きです。

僕のようなアホでも EMC 事業主査や九州部長も経験済み、今期は九州部地域奉仕・環境事業主査として、先月はSDGsについて講義しました。ワイズにいると有益な勉強は出来るし、ワイワイと楽しく飲んで笑うこともできる。更に嬉しいのは、実行した活動等について、仮に失敗があっても、当人が一生懸命行動したならメンバーは優しく寛容です。これが長年ワイズを続けている一因でもあります。

プライベートはグチャグチャで公言できそうにないので控えます。人付き合いは高尚なワイズメンから反社、刑余者、生活困窮者まで多彩であり、今年還暦になりますが人生楽しーく過ごしています。



大好きな孫娘とNHKのど自慢に挑戦しました(R2年2月)

■新しい仲間をご紹介します

11/5 入会	湯沢 隆	北京都フロンティアクラブ
11/10 入会	立山 英展	大阪サウスクラブ
11/19 入会	知念 章雄	和歌山クラブ
11/26 入会	松本 啓一	京都ウエストクラブ



■部会情報

第32回

ハイブリッド阪和部会

「寄り添う!! 忘れない!!」

2021年 2月20日(土)

14:00 開会～15:30 閉会

■会場

奈良メイン会場：奈良商工会議所

仙台会場：仙台 YMCA

和歌山会場：和歌山 YMCA

大阪会場：大阪南 YMCA

※zoom 参加可能な方は、ご自宅等からの参加をお願いいたします。

■会費

会場参加者：1,000 円

Zoom 参加者：500 円

■参加申込

クラブ単位で申込用紙にご記入の上、FAX またはメールにてお送りください。

■お問合せ

阪和部長／中井信一 第32回阪和部会実行委員長／林 祐幸
ホストクラブ 奈良クラブ



■周年例会情報

京都パレスワイズメンズクラブ

クラブ設立 50 周年記念例会

はじまりは YMCA から

Thanks! YMCA

2021年 3月27日(土)

ところ／京都ホテルオークラ

登録費／10,000 円

※申込詳細については第2報にてお知らせします。



■西日本区大会情報

Let's do it now

2022に向けて誇りを持って

All is well.

2021年 6月5日(土)／6日(日)

ワイズメンズクラブ国際協会

第24回西日本区大会

大会会場 / 懇親会 : ウェステイン都ホテル京都



■理事事務局から

各クラブ、各部などで西日本区内に広く周知したい情報等があれば、書記(安井) および理事事務局長(高倉) までお知らせください。

